

2016年を迎えて

NPO 法人調布市民放送局 代表 三木哲也

明けましておめでとうございます。本年も調布市民放送局へのご支援を、よろしくお願い申し上げます。
不安要素の多い社会情勢ですが、市制60周年の区切りを経た調布市にとって今年は、オリンピック・パラリンピックへ向けての準備の始まりや、調布駅地下化・再開発がいよいよ仕上げ段階に入るなど、明るい話題の多い年になりそうです。今年の干支「申」は木の実が熟していく段階を意味するそうですので、調布市民放送局としても、このような市内の熟していく段階の話題を追ってお知らせすることに努めたいと思います。

1月に石原裕次郎展、2月に日活調布撮影所展を開催

映画映像産業と共に発展してきた調布にふさわしい展示会やイベントが、昨年暮れから始まり3月まで続く。「市内に3カ所ある映画関連事業者の協力を得て実現した4カ月連続の特別企画展です」(市の産業振興課担当者)。その第1弾として、角川大映スタジオ展が12月19日(土)と20日(日)に文化会館「たづくり」むらさきホールで開催された。同スタジオは昭和8年に日本映画(株)の多摩川スタジオとして開所し、「映画のまち」調布の出発点となったスタジオである。会場にはかつての大映(現KADOKAWA)の名作「羅生門」や特撮の「大怪獣ガメラ」、角川映画からは高倉健や薬師丸ひろ子の「野生の証明」など懐かしいポスター―が展示されていた。会場には筆者も2日間通ったが、連日500人ほどの客が詰めかけ、映画に関心の深い人が市内に多いことを実感した。くすのきホールで20日に上映された田宮二郎主演の「白い巨塔」(1966年)には午前中にもかかわらず200人ほどの観客が入り、この社会派映画の上映終了後には会場から拍手が起きたほどだ。

9日(土)から11日(月・祝日)にかけて石原裕次郎展が同むらさきホールで開かれる。一般公開されていない石原裕次郎ゆかりの品々や貴重な写真、さらには昭和35年に行なわれた結婚式で、まき子夫人が着用した結婚衣装も展示。昭和48年から市内に事務所を構える石原プロの協力を得て実現した調布ならではの貴重な展示である。屋外ステージではテレビ「西部警察」や「ゴリラ」で使用された車マシーンエックスやサファリも並ぶ。そして、2月には浅丘ルリ子、吉永小百合など多くの女優が活躍した日活調布撮影所展、3月には調布映画祭2016と続く。29年度にはイオンのシネコンも開業予定だし、市の鉄道敷地跡地整備プランでは映画ゾーンも検討中だ。映画を通して町に活気と賑わいが出ることを期待している。(大泉 洋一)

応援しよう! スポーツ in 調布

FC 東京

【第95回天皇杯全日本サッカー選手権大会】
準決勝でサンフレッチェ広島に1対2で惜敗しました。
今シーズンの試合はすべて終了。1年間お疲れ様でした。
2016シーズンの監督として城福 浩氏の就任が決定
来シーズンも応援しましょう!!

LIXIL DEERS (リクシル ディアース) : 調布のアマフトフーム

2015年度のシーズン終了。1年間お疲れ様でした。
来年も応援しましょう!

東京サンレーヴス : 調布にあるバスケフーム 1勝17敗 12位

1月16日(土)18:00~ 1月17日(日)14:00~
VS 福島ファイヤーボンズ @稲城市総合体育館

話 聞 見
い い い
猿 団



2016

CATCH では、○番組制作メンバー○運営メンバー○会員・賛助会員・法人会員
○資金・場所などを支援くださる方を募集しています!

～FC 東京応援記～

2015シーズンは12/26天皇杯準々決勝で終戦した。マツシモ・フィッカデンティ率いた東京の2年間もこれで終わった。常に優勝争いのできるチームであること。最後まで諦めない本物のスピリットを持つ選手へ成長すること。マツシモ監督の2年間でチームは確実に変化を見せた。最終節までリーグ優勝の可能性が残っていたチーム。橋本、中島といった若手の成長はチームを底上げし、東京のレギュラー争いは非常にハイレベルになった。そして、チームは3週間の休養を挟み再始動する。監督も変わり、戦うスタイルが変わる。ボールも人も動く、ムービング・フットボールが帰ってくる。新加入する選手もいれば他のチームに移る選手もいる。新シーズン、私は‘進化’した東京が見たい。



追伸: その左足で何度も私たちを魅了した太田宏介。オランダでの大暴れを願っています。あなたの東京愛は決して忘れない。(日比生)

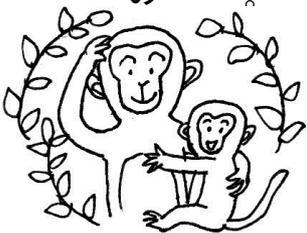
干支は猿

今年の干支は十二支の九番目で申(シン)。動物では猿が当てられる。

猿は人間にもっとも近い動物といわれるだけあり、古来日本ではさまざまな故事・ことわざ、和歌・俳句、昔話などにも多く登場する。例えばことわざでは「猿が仏を笑う」、「猿の人真似」、「猿も木から落ちる」など、俳句では「年々や狙(さる)に着せたる狙の面」(芭蕉)等々。

昔話で代表的なものは「猿蟹合戦」だろう。一般に知られているお話は、猿は蟹の持っているおにぎりが欲しいため蟹をだまして柿の種と交換する。蟹は猿にもらった柿の種をまいたところ、柿がいっぱい成った。これを見た猿は柿を取り、蟹にそれを投げつける。猿に親を殺された蟹の子は石臼、蜂、栗の協力を得て猿に仕返しをする——というもの。このような民話は全国にあるが、猿はいささかずる賢い動物として描かれている。「猿地藏」という昔話は、良いお爺さんが焼き餅をもって山に草刈りに行くと猿が現れ、餅を取ってしまった。それを黙って見ていたお爺さんを、猿はここにお地藏さんが居るといってお堂に安置し、いろいろの供物をそなえた。これを知った欲深な隣のお爺さんは自分も供物をもらおうとお地藏さんの真似をする。が、途中猿の歌うお囃子が可笑しくなり笑ってしまったため、今度は猿に川に捨てられてしまおう——というお話。いずれも猿を登場させて、人々に悪い行いをすると必ず報いを受けるという「教訓譚」となっているようだ。

さて猿年の今年はどのような年となるのだろうか——。猿は知恵があり機敏で進取の気性に富んでいる動物の象徴とされているように、一層の飛躍の年としたいものである。(杉浦俊之)



調布の話題

敗戦と占領下の調布人

1945年(昭和20年)9月2日、日本は米軍戦艦ミズーリ号上で降伏文書に署名し連合軍の占領下になる。敗戦というドサクサに、調布市域でも思わぬことが起きている。

陸軍調布飛行場に米兵80名が進駐したのが9月4日であった。その前に、多くの日本兵は倉庫にあった毛布、食糧等を持ち出して秩序なく帰郷している。仙川の昌翁寺にトラックで乗り付けた日本軍将校は、軍に供出用の樺の大木を軍が解散されたにも関わらず、住職が止めるのを聞かず自分のために持ち去っている。

また、初めての占領を経験する調布人も恐怖心から、自ら軍国主義的なものを進駐軍の目に触れないように動いている。布多天神社にある「必勝祈願」の石灯籠の文字にコンクリートを塗って、倒したり、境内の忠魂碑の「忠」の字をノミで削っている。この調布人の恐怖心の理由を「日本軍が中国でやって来た事を知っているから」と、ある古老が話してくれた。占領される意味を的確に説明してくれた言葉であった。(古橋研一)

新年の「第九とみんなでわが町調布」

市制施行60周年、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団設立20周年記念のコンサート「第九とみんなでわが町調布」が1月16日(土)にグリーンホールで開催される。公募市民による混声合唱「わが町調布合唱団」は昨年9月から練習をしており、本番に備えている。その練習ぶり取材した。

12月15日(火)グリーンホールの小ホールで午後6時30分から始まった練習には190人近くの市民合唱団が参加。年内最後の練習で、この日は指揮者の飯守泰次郎さんが直接に指導。アルト、バス、テノール、ソプラノと各パート別に分かれたグループに、ベートーヴェンの交響曲9番(合唱付)をドイツ語で力強く歌うコツを身ぶり手ぶり豊かに教えていた。「分かりやすい教え方で、本番へますます気合が入ってきました」(ソプラノの1人)。第九の練習のあい間に調布市民の歌「わが町調布」も指導。歌い方の細かい点まで、修正のアドバイスしていた。新年16日には、歓喜の歌とともにオール調布の大合唱団の歌が聞けるだろう。(大泉 洋一)

小松菜ぎょうざは aona の初心

子育てカフェ「aona」の新年のメニューは小松菜ぎょうざです。小松菜は aona の名前の由来になった野菜。調布でたくさん採れる青い菜っ葉をおいしく食べられる食堂にしたいという意味で名付けました。旬の野菜、畑で熟して食べごろに収穫された地元野菜のおいしさは格別です。小松菜ぎょうざは、aona の前身「ちょこカフェ」時代からのヒットメニューで、皮から緑が透けてみえるほどたっぷりの小松菜と豚肉で餡をつくります。ある日のこと、お母さんと二人できた野菜嫌いの子どもは、いやがって別のメニューを頼みました。食べ終わった食器を片づけると、「私の小松菜ぎょうざはぜーんぶ子どもに食べられてしまいました」とお母さんが苦笑しています。そうそう、それです。家ではなかなか口にしようとしなくても、場所や作り方がかわれば食べてみたくなります。そんなきっかけを作れたのなら、こんなにうれしいことはありません。こどもも大人も大好きな小松菜ぎょうざを、あなたもどうぞ召し上がってみてください。

(aona 店長・杉山裕子)

～こんなご協力をいただいています～

機材等: (株)アーキシステム、アツデン(株)、(株)Studio DU サーバー: 電気通信大学 撮影協力: (株)パルコ調布店
イラスト: 松浦素子 墨絵: 高橋弘子(敬称略)その他多くの方にご協力を頂いています。ありがとうございます!

水木しげるさんを偲ぶ

11月30日、調布市名誉市民の漫画家水木しげるさんがご逝去されました。お元気な時は、良く市内を散歩されていたので、水木さんご本人とお会いした調布市民も多い事と思います。それだけ、私達にとって身近な存在でした。また、水木さんの描いていた妖怪とダブって、決して亡くならないのではと思いつ込んでいましたので、訃報に接し、驚きと悲しみを禁じ得ません。

調布市民放送局と水木さんとの御縁は、平成20年のNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の放送が決まってからです。作者であり奥様である武良布枝さん、次女の水木悦子さんには、調布わくわくステーションの番組に出演いただきました。収録させていただいた水木事務所は、正に、水木さんの世界そのものでした。その後、幾つか撮影させていただき、今年の8月、「水木しげるの戦争と新聞報道展」の時、お目にかかったのが最後となりました。是非、水木さんを偲び、番組をご覧ください。(まりっぺ)



神代植物公園1月の行事 新年恒例の宝船がお迎えします!

◆講演会「植物画とその歴史」

- ・日時: 1月24日(日) 13:30~15:30
(13時受付開始)
- ・場所: 植物会館2階集会室
- ・内容: ランを中心に古い植物画を紹介しその歴史を解説します。
- ・講師: 斎藤亀三氏(ラン懇話会 会長)
- ・定員: 50名(当日受付 先着順)
- ・参加費: 無料(入園料別途)

■問い合わせ先: 神代植物公園 ☎042-483-2300



植物多様性センターからのお知らせ

◇月例講座「寄生と共生の植物学」

～みんなひとりじゃ生きられない?～

寄生や共生という生き方をする、自然のしくみの面白さに触れてみませんか。

- ・日時: 1月24日(日)13:30~15:00
- ・場所: 植物多様性センター 情報館
- ・定員: 先着 25名(申込先着順)
- ・申し込み: 電話または窓口へ(9:30~17:00 受付)
- ・参加費: 講座、入園料金とも無料

■問合先: 植物多様性センター ☎042-485-1210

2016年1月 番組表

< 調布市民放送局の番組を見ることができます >



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」

調布 C A T C H J:com 111chにて1日2回放送 (放送日時の変更あり)

月	火	水	木	金	土	日
8:55 17:55						

テレビ番組

1日	①映像で綴る調布市制60年前編(1955年~2000年) 調布市は昨年市制60周年を迎えました。現存する映像を見ながら60年を振り返ってみたいと思います。調布市の人口が急激に増え、インフラ整備に追われ、成長していく様子がよくわかります。	
15日	②国際交流協会イベント:第20回「日本語で話そう会」が開催され、日本に来てまだ日の浅い国際交流協会会員が流暢な日本語で、各自のテーマを発表しました。 ③『講演と映画の集い』:人権擁護委員による「講演と映画の集い」がイルカさんを講師に招いて開催されます。一緒に命の大切さを考えてみましょう!	【映像で綴る調布 前編】
16日	①映像で綴る調布市制60年後編(2001年~2015年) 「新選組」「ゲゲゲの女房」の放映、京王線の地下化完成。 『スポーツ祭東京2013』が開催され、2019年のラグビーW杯、2020年には、オリンピックとパラリンピックが予定され益々発展するでしょう。	
31日	②調布市少年野球連盟創立40周年の記念式典:調布市は少年野球が活発な所。選手・父兄・それを支える人たちで会場が活気に満ちていました。 ③コンプリ・ガエタノ神父が語る国際理解と異文化交流: 国際交流協会主催で、来日60年を迎えるコンプリ神父の講演会が行われました。	【映像で綴る調布 後編】

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎月第2週の金曜日、21時30分~45分) 調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに!		
1月8日(金)21時30分~45分	たきやなぎ のぶお 瀧柳 伸央氏	「ラグビーW杯2019を調布で応援する会」
味の素スタジアムでラグビーの世界選手権大会の開会式と開幕戦があります。1月8日(金)のゲストは、「ラグビーW杯2019を調布で応援する会」の代表瀧柳伸央さんにラグビーの面白さをお聴きします。		
2月12日(金)のゲストは、テディベア作家の宮田美恵子さん。宮田さんの作品は、1月27日まで、たづくり9階のリトルギャラリーで見ることが出来ます。CATCHのHPでも見る事が出来ます。		

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。
<http://chofu-catch.or.jp/> (新) <http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブ)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック)

調布市民放送局ニュースが手に入ります(順不同)

- ◆図書館(本館、分館)◆たづくり◆公民館◆調布市総合福祉センター◆深大寺◆喫茶サンマロー◆ジェイコムショップ
- ◆調布エフエム◆調布市商工会館◆地域福祉センター◆市民活動支援センター◆調布市郷土博物館◆喫茶店 いの
- ◆中村歯科◆東日本電気電話保守センター◆電気通信大学◆みんなの広場◆山口酒店◆野村証券調布支店
- ◆布多天神社◆クッキングハウス◆せんがわ劇場◆デンマークINN 深大寺◆デンマークINN 調布◆山田病院◆新鮮屋
- ◆調布市総合体育館◆セブンイレブン調布染地2丁目店◆多摩信用金庫調布北口支店◆ちょこカフェ◆教育会館
- ◆神代植物公園◆神代植物公園植物多様性センター◆ローソン調布布田五丁目店◆麺飯坊無双◆アジアンタイパイ
- ◆調布白菊幼稚園◆男女共同参画推進課◆co-ba chofu◆深大寺そばごちそう門前◆だるチャンプロデュース
- ◆深大寺門前そば本舗

編集後記 : 明けましておめでとうございます。今年も取材・撮影等でお世話になると思います。どうぞよろしく願いいたします。

★ご意見・ご感想をお待ちしています。⇒ catch@chofu-catch.sakura.ne.jp [編集・発行]NPO 法人調布市民放送局

〒182-0022 調布市国領町2-5-15、調布市民プラザあくろす2階 市民活動支援センター 気付 070-5576-1429